

## 令和5年度ネットリサーチ「動物愛護」に関するアンケート結果報告書

### ■結果のポイント

- ペット同行避難に対する考え方については、「ペット同行避難について理解できるため、避難所にペットがいてもよい」が28.4%で最も高く、「ペット同行避難は大切だから、積極的に進めるべき」が22.6%と続く。
- 茨城県動物指導センターにおける収容・保護された犬に対する県民への譲渡条件については、すべての項目で「適切である」が最も高くなっている。
- 自宅周辺で見かける野良猫の頭数の変化については、「変わらない」が43.6%で最も高く、「減った」が20.5%と続く。一方で、「増えた」は8.5%となっている。

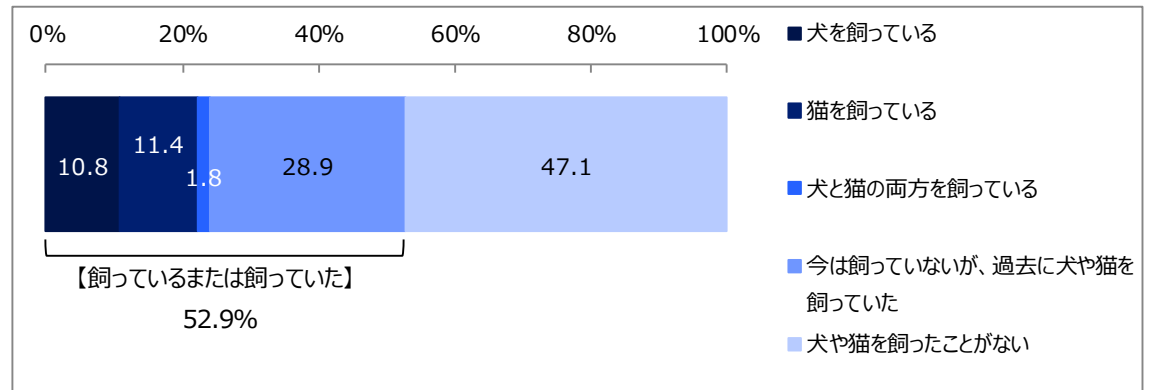
### ■調査結果の概要

#### 1 犬や猫の飼育状況

- ◇ 「犬を飼っている」(10.8%)、「猫を飼っている」(11.4%)、「犬と猫の両方を飼っている」(1.8%)及び「今は飼っていないが、過去に犬や猫を飼っていた」(28.9%)を合わせた【飼っているまたは飼っていた】は52.9%となっている。
- ◇ 一方で、「犬や猫を飼ったことがない」は47.1%となっている。

Q1.あなた又はあなたのご家庭では、今、犬や猫を飼っていますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

	%	n
全体	100.0	1000
犬を飼っている	10.8	108
猫を飼っている	11.4	114
犬と猫の両方を飼っている	1.8	18
今は飼っていないが、過去に犬や猫を飼っていた	28.9	289
犬や猫を飼ったことがない	47.1	471

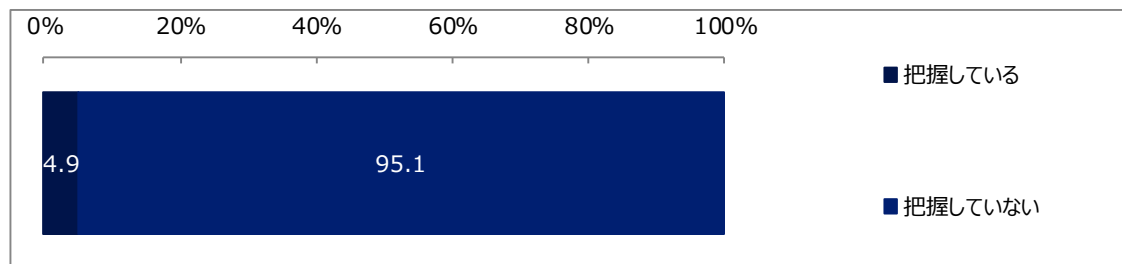


## 2 ペット同行避難ができる避難所の認知状況

◇ 「把握している」が4.9%、「把握していない」が95.1%となっている。

Q2.茨城県では災害時における「ペット同行避難」(\*)を推進しています。あなたは、お住まいの市町村において、ペット同行避難ができる避難所がどこにあるか把握していますか。

	%	n
全体	100.0	1000
把握している	4.9	49
把握していない	95.1	951



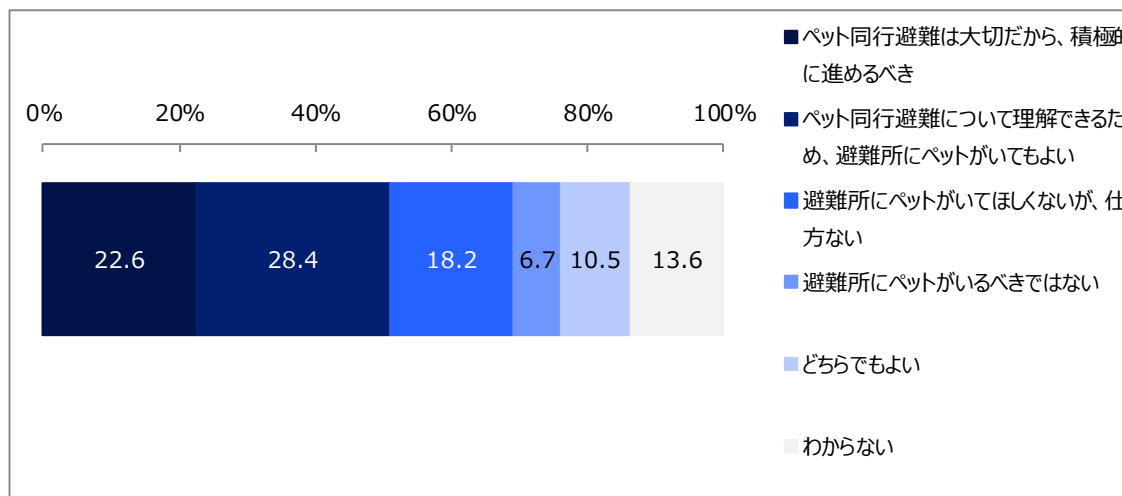
※ペット同行避難とは、災害時にペットと一緒に避難所等の安全な場所に逃げることです。

## 3 ペット同行避難に対する考え方

◇ 「ペット同行避難について理解できるため、避難所にペットがいてもよい」が28.4%で最も高く、「ペット同行避難は大切だから、積極的に進めるべき」が22.6%と続く。

Q3.あなたは、災害時にペットと一緒に避難すること（ペット同行避難）について、どう思いますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

	%	n
全体	100.0	1000
ペット同行避難は大切だから、積極的に進めるべき	22.6	226
ペット同行避難について理解できるため、避難所にペットがいてもよい	28.4	284
避難所にペットがいてほしくないが、仕方ない	18.2	182
避難所にペットがいるべきではない	6.7	67
どちらでもよい	10.5	105
わからない	13.6	136

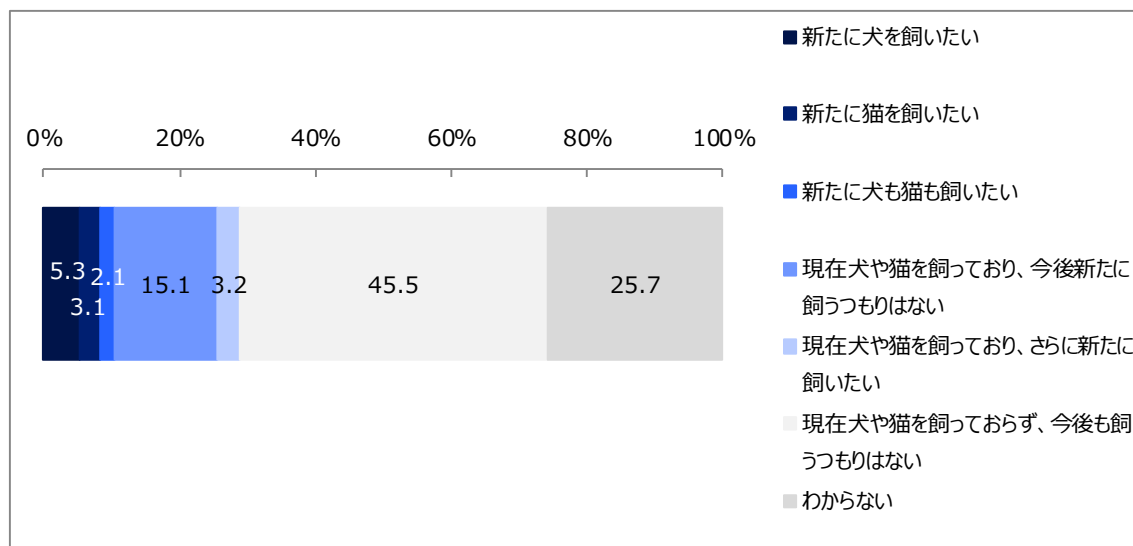


#### 4 犬や猫を飼う意向

☆ 「現在犬や猫を飼っておらず、今後も飼うつもりはない」が45.5%で最も高い。

Q4.あなた又はあなたのご家庭では、今後新たに犬や猫を飼う意向はありますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

	%	n
全体	100.0	1000
新たに犬を飼いたい	5.3	53
新たに猫を飼いたい	3.1	31
新たに犬も猫も飼いたい	2.1	21
現在犬や猫を飼っており、今後新たに飼うつもりはない	15.1	151
現在犬や猫を飼っており、さらに新たに飼いたい	3.2	32
現在犬や猫を飼っておらず、今後も飼うつもりはない	45.5	455
わからない	25.7	257



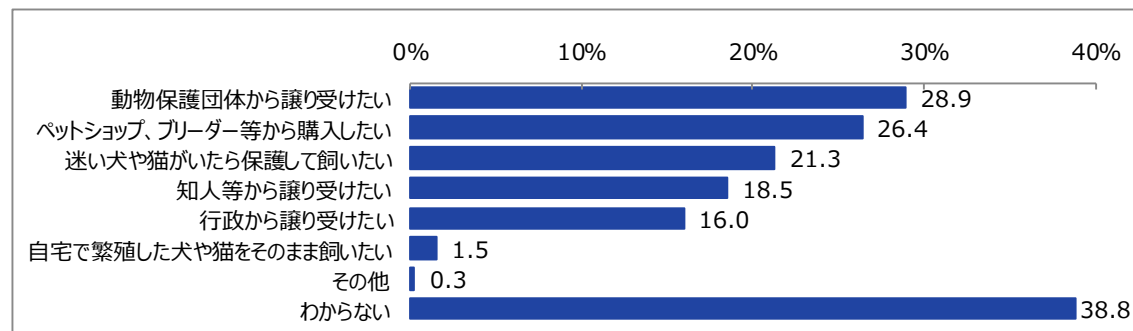
#### 5 犬や猫を飼う方法

☆ 「動物保護団体から譲り受けたい」が28.9%、「ペットショップ、ブリーダー等から購入したい」が26.4%などとなっている。

(前問で「新たに犬を飼いたい」「新たに猫を飼いたい」「新たに犬も猫も飼いたい」「現在犬や猫を飼っており、さらに新たに飼いたい」「わからない」と回答された方へ)

Q5.あなたが今後犬や猫を飼うとしたら、どのような方法で飼おうと考えていますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

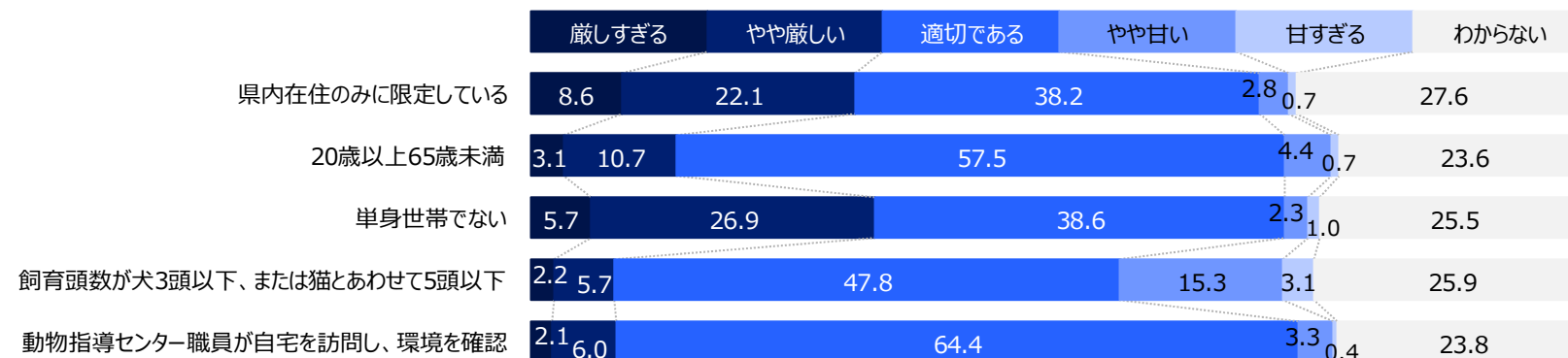
	%	n
全体	100.0	394
動物保護団体から譲り受けたい	28.9	114
ペットショップ、ブリーダー等から購入したい	26.4	104
迷い犬や猫がいたら保護して飼いたい	21.3	84
知人等から譲り受けたい	18.5	73
行政から譲り受けたい	16.0	63
自宅で繁殖した犬や猫をそのまま飼いたい	1.5	6
その他	0.3	1
わからない	38.8	153



6 茨城県動物指導センターにおける収容・保護された犬に対する県民への譲渡条件

☆ すべての項目において「適切である」が最も高くなっている。

Q6.茨城県動物指導センターでは収容・保護された犬を県民の方々に譲渡しています。譲渡にはいくつかの条件がありますが、以下の条件についてあなたはどのように感じますか。あてはまるものをそれぞれ1つ選んでください。



	n	厳しすぎる	やや厳しい	適切である	やや甘い	甘すぎる	わからない
県内在住のみに限定している	100.0 1000	8.6 86	22.1 221	38.2 382	2.8 28	0.7 7	27.6 276
20歳以上65歳未満	100.0 1000	3.1 31	10.7 107	57.5 575	4.4 44	0.7 7	23.6 236
単身世帯でない	100.0 1000	5.7 57	26.9 269	38.6 386	2.3 23	1.0 10	25.5 255
飼育頭数が犬3頭以下、または猫とあわせて5頭以下	100.0 1000	2.2 22	5.7 57	47.8 478	15.3 153	3.1 31	25.9 259
動物指導センター職員が自宅を訪問し、環境を確認	100.0 1000	2.1 21	6.0 60	64.4 644	3.3 33	0.4 4	23.8 238

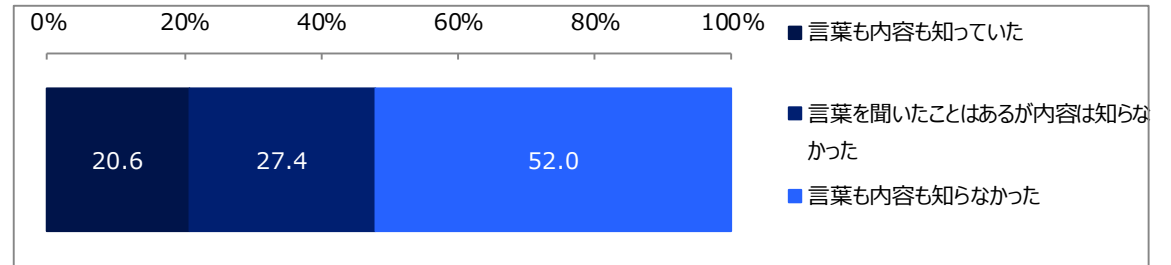
## 7 地域猫活動の認知度

- ◇ 「言葉も内容も知っていた」が20.6%、「言葉は聞いたことがあるが内容は知らなかった」が27.4%となっている。
- ◇ 一方で、「言葉も内容も知らなかった」は52.0%であった。

「地域猫活動」とは、飼い主のいない猫の不妊去勢手術を実施し、周辺美化等のルールに従い、地域住民が飼養管理することです。また、茨城県では「地域猫活動推進事業」として、2017年度か地域住民が取組む地域猫活動に関し、不妊去勢手術費用の助成を行っています。

Q7.あなたは地域猫活動について知っていましたか。

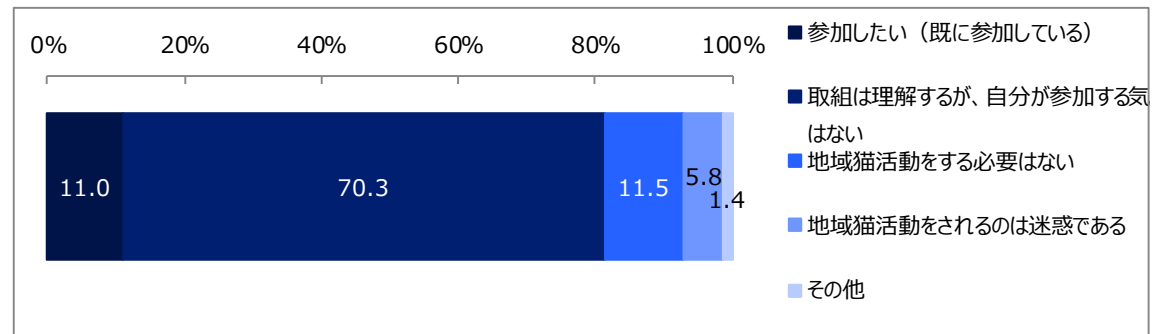
	%	n
全体	100.0	1000
言葉も内容も知っていた	20.6	206
言葉を聞いたことはあるが内容は知らなかった	27.4	274
言葉も内容も知らなかった	52.0	520



## 8 地域猫活動に対する考え方

- ◇ 「取組は理解するが、自分が参加する気はない」が70.3%で最も高い。
- Q8.あなたは地域猫活動についてどう思いますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

	%	n
全体	100.0	1000
参加したい（既に参加している）	11.0	110
取組は理解するが、自分が参加する気はない	70.3	703
地域猫活動をする必要はない	11.5	115
地域猫活動をされるのは迷惑である	5.8	58
その他	1.4	14



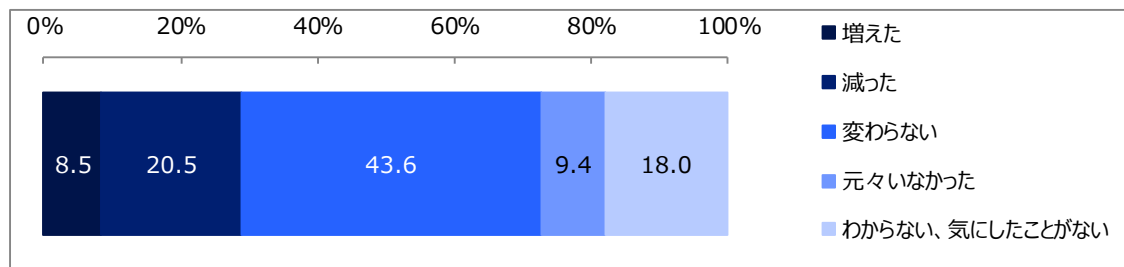
## 9 自宅周辺で見かける野良猫の頭数の変化

◇ 「変わらない」が43.6%で最も高く、「減った」が20.5%と続く。

◇ 一方で、「増えた」は8.5%となっている。

Q9.あなたのお宅の周囲では数年前（3～5年前）に比べ、見かける野良猫の頭数に変化はありましたか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

	%	n
全体	100.0	1000
増えた	8.5	85
減った	20.5	205
変わらない	43.6	436
元々いなかった	9.4	94
わからない、気にしたことがない	18.0	180



## ■調査の目的

県では「茨城県犬猫殺処分ゼロを目指す条例」を踏まえ予算化された「犬猫殺処分ゼロを目指すプロジェクト事業」により犬猫の殺処分ゼロを実現するため様々な施策を推進している。プロジェクト事業をより効果的なものとするため、本調査を活用し、県が抱えている問題や必要とされる施策について検討する。

## ■実施概要

- ・実施期間：令和5年7月26日～8月7日
- ・サンプル数：茨城県常住人口調査（令和5年4月1日現在）に基づく性別・年代・居住地（5地域）の割合で割り付けた18歳以上の県民1,000サンプル

回答者数（人）

		県北	県央	鹿行	県南	県西	計
全体		114	245	94	359	188	1,000
性別	男性	59	125	50	185	99	518
	女性	55	120	44	174	89	482
年代別	18～29歳	18	41	16	68	33	176
	30歳代	17	42	16	62	30	167
	40歳代	23	55	21	83	41	223
	50歳代	28	57	21	79	42	227
	60歳代	28	50	20	67	42	207

県北：日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、常陸大宮市、久慈郡

県央：水戸市、笠間市、ひたちなか市、那珂市、小美玉市、東茨城郡、那珂郡

鹿行：鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市

県南：土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、稲敷郡、北相馬郡

県西：古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、結城郡、猿島郡

(注)

1. 「ネットリサーチ」の回答者は、民間調査会社のインターネットリサーチモニターであり、無作為抽出された調査対象者ではない。
2. 割合を百分率で表示する場合は、小数点第2位を四捨五入した。四捨五入の結果、個々の比率の合計と全体を示す数値とが一致しないことがある。
3. 図表中の表記の語句は、短縮・簡略化している場合がある。
4. 男性18～29歳の回収件数は、「県西」の地域で目標値（上記の件数）を下回ったため、男性30歳代で1サンプルを超過回収し、地域×性年代の人口分布に極力近づくように調整した。